パケットトレーサで学ぶNW構築 (基礎編)

⑤ 総合実習 (解説編)

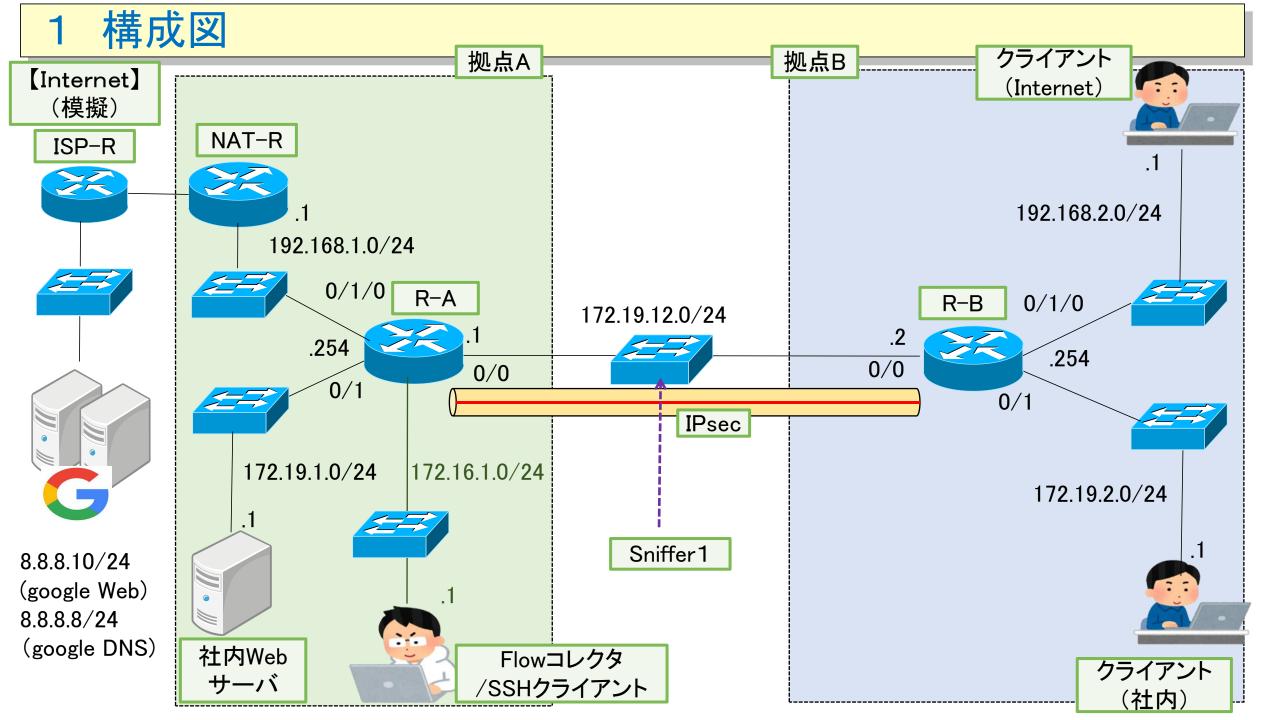


本資料の位置付け

本資料はパケットトレーサで学ぶNW構築(基礎編)の総合実習における構成及び設定及び機能確認の一例を提示するものです

- 1 構成図
- 2 構成条件
- 3 構成後の機能確認
 - (提供サービスの機能確認)
 - (監視条件)
 - (回線条件)
- 4 参考資料
 - (1) インタフェースモジュールの追加例
 - (2) VLANの作成及びIPアドレスの付与要領
 - (3) Netflowによるトラヒックの確認
 - (4) ルータへのSSH設定及び確認

前回の資料からの追加分は紫色で示している項目になります! サンプルpktファイルについては "sougou-1-mihon.pkt"になります 構成図



2 構成条件

2 構成条件

(提供サービス)

拠点A~拠点B間において以下のさーびす

- ① 拠点Bクライアント→拠点Aサーバに対するWebアクセス
- ② 拠点Bクライアント→拠点AのNAT-R経由によるインターネットアクセス

(監視条件)

拠点Aの保守端末は以下の機能を具備します。 各NW機器に対するSSHアクセス Netflowによるトラヒック確認

(回線条件)

拠点A〜拠点BにおいてはVPNルータにより秘匿(IPSEC)を実施 <秘匿対象は全サービスとする>

(構成及び使用アドレス)

1 構成図のとおり

3 構成後の確認

(提供サービスの機能確認)

拠点A~拠点B間において以下のサービスが提供できるかを確認してください

- ① 拠点Bクライアント→拠点Aサーバに対するWebアクセス
- ② 拠点Bクライアント→拠点AのNAT-R経由によるインターネットアクセス

(監視条件の機能確認)

拠点Aの保守端末から以下の動作が可能かを確認してください。 各NW機器に対するSSHアクセス Netflowによるトラヒック確認

(回線条件の機能確認)

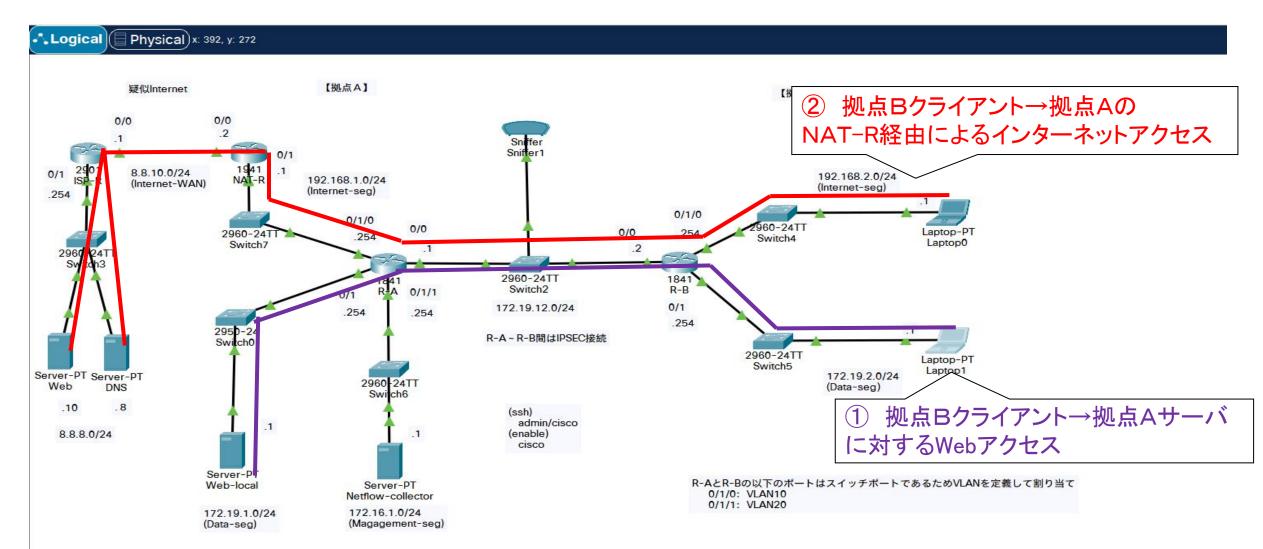
拠点間VPNルータにより秘匿(IPSEC)できているかを以下の方法で確認してください

- ・ルータのIPSEC関連コマンドおょびアクセスリスト(カウンタ)での確認
- •SniferOによる各提供サービスのトラヒックが秘匿(ESP)されているか?

3 構成後の確認

(提供サービスの機能確認)

(提供サービスの機能確認) 拠点A〜拠点B間において以下のサービスが提供できるかを確認してください

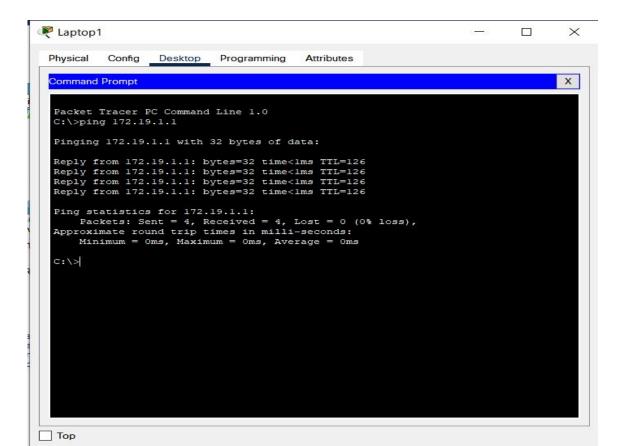


(提供サービスの機能確認)

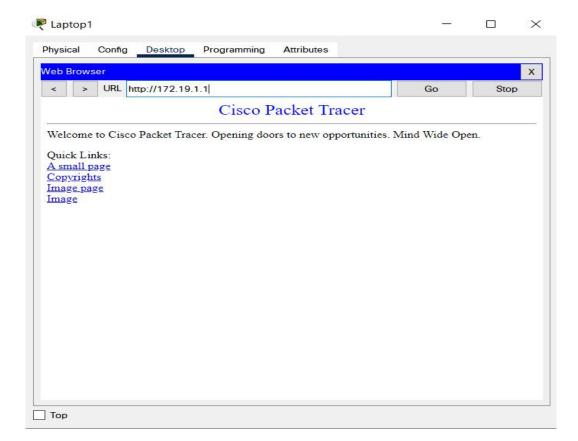
① 拠点Bクライアント→拠点Aサーバに対するWebアクセス

クライアント (社内)

【クライアントからWebサーバへのPING】



【クライアントからWebサーバにWebアクセス】

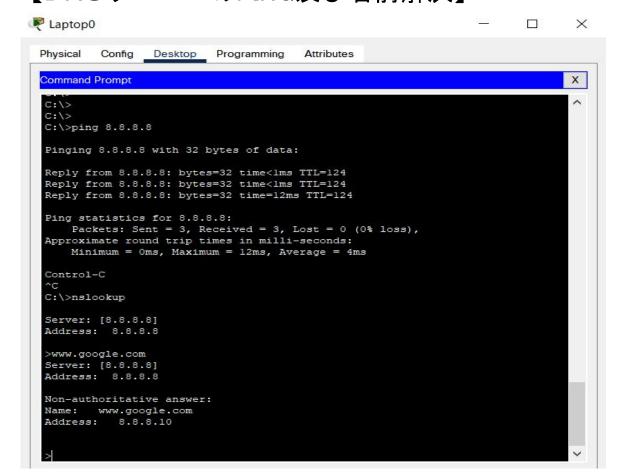


(提供サービスの機能確認)

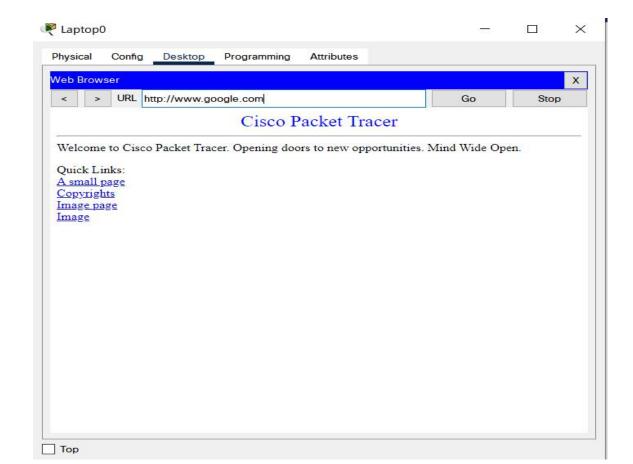
② 拠点Bクライアント→拠点AのNAT-R経由によるインターネットアクセス

拠点Bクライアント (Internet)

【DNSサーバへのPING及び名前解決】



【クライアントからWebアクセス】

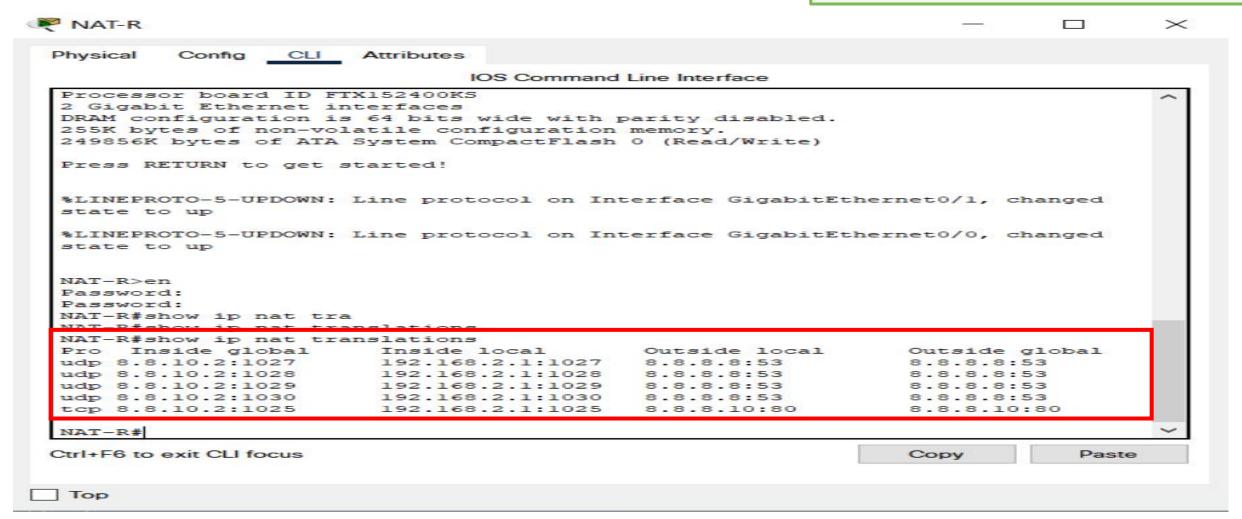


(提供サービスの機能確認)

② 拠点Bクライアント→拠点AのNAT-R経由によるインターネットアクセス

【NAT-Rによるアドレス変換状況の確認】

"show ip nat translations" による確認

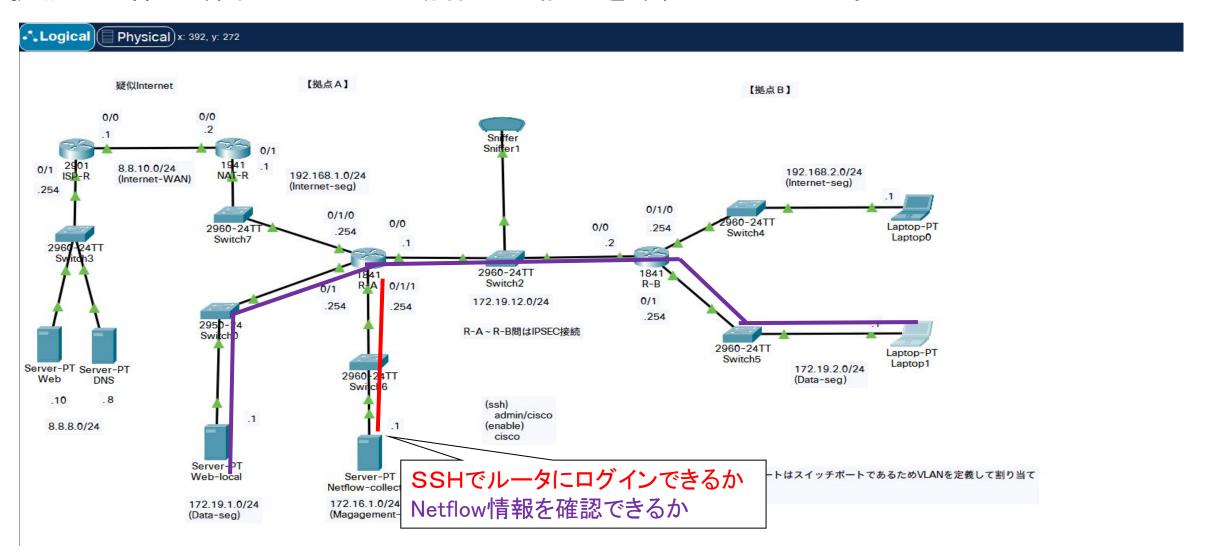


3 構成後の確認

(監視条件の機能確認)

(監視条件の機能確認)

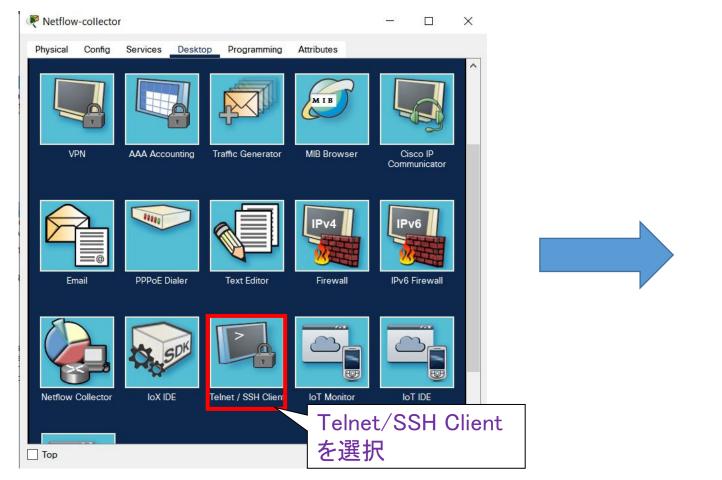
拠点Aの保守端末から以下の動作が可能かを確認してください。

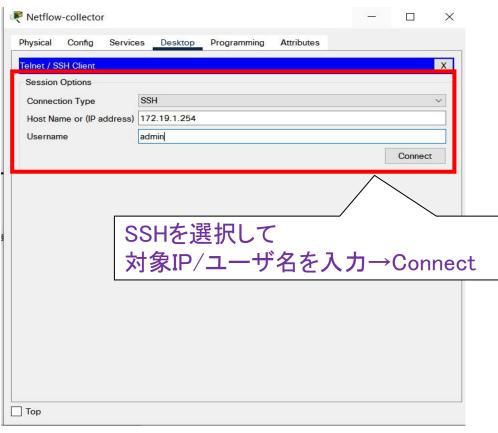


(監視条件の機能確認) 切らるの保守端末から以下の

拠点Aの保守端末から以下の動作が可能かを確認してください。 各NW機器に対するSSHアクセス

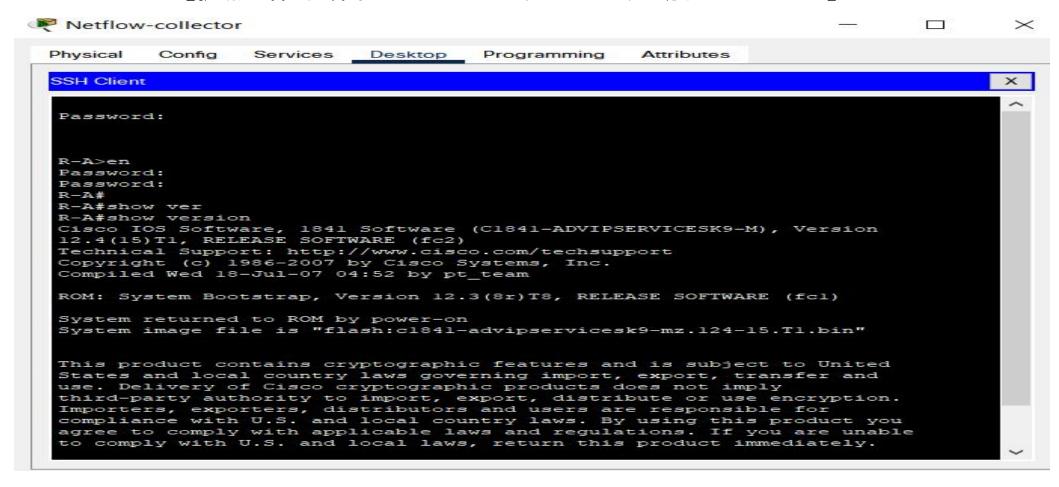
【拠点A保守端末からのSSHクライアント起動及びログイン】





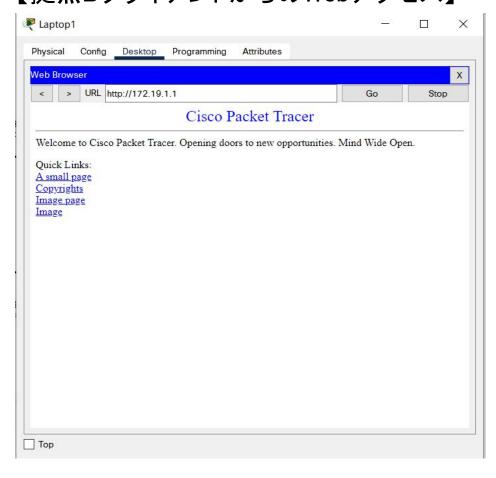
(監視条件の機能確認) 拠点Aの保守端末から以下の動作が可能かを確認してください。 各NW機器に対するSSHアクセス

【拠点A保守端末からのSSHクライアント起動及びログイン】

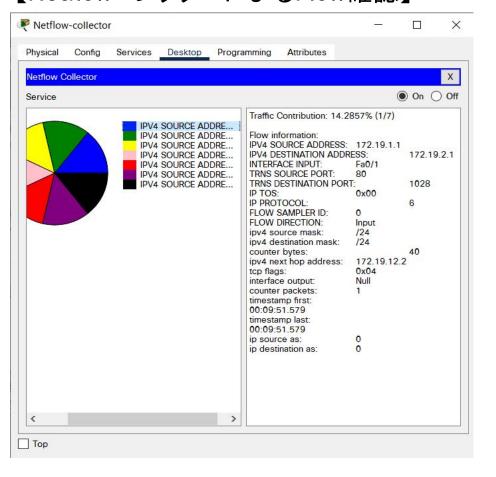


(監視条件の機能確認) 拠点Aの保守端末から以下の動作が可能かを確認してください。 Netflowによるトラヒック確認

【拠点BクライアントからのWebアクセス】



【NetflowコレクターによるFlow確認】



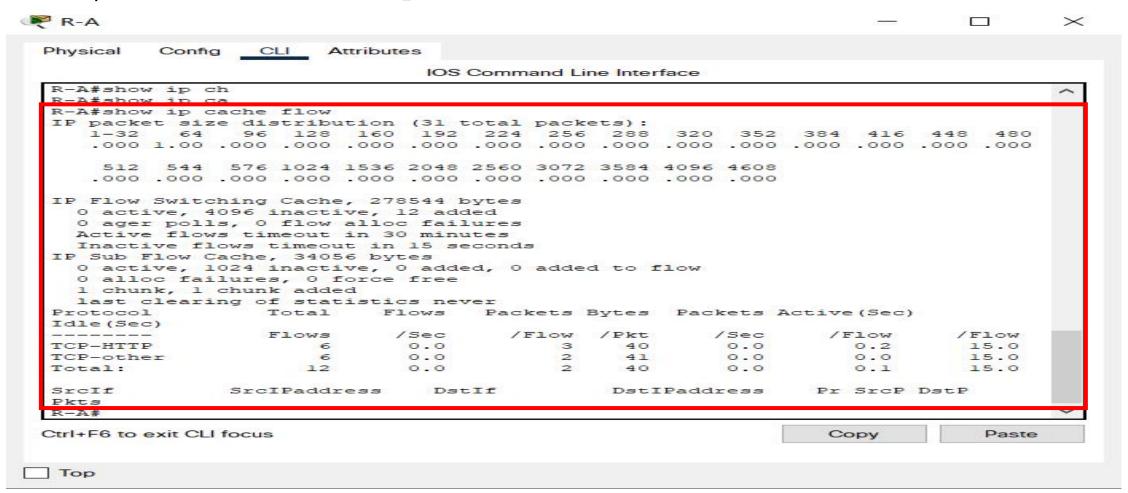
(監視条件の機能確認)

拠点Aの保守端末から以下の動作が可能かを確認してください。

Netflowによるトラヒック確認

【NetflowExporter(R-A)によるFlow確認】

"show ip cache flow" による確認

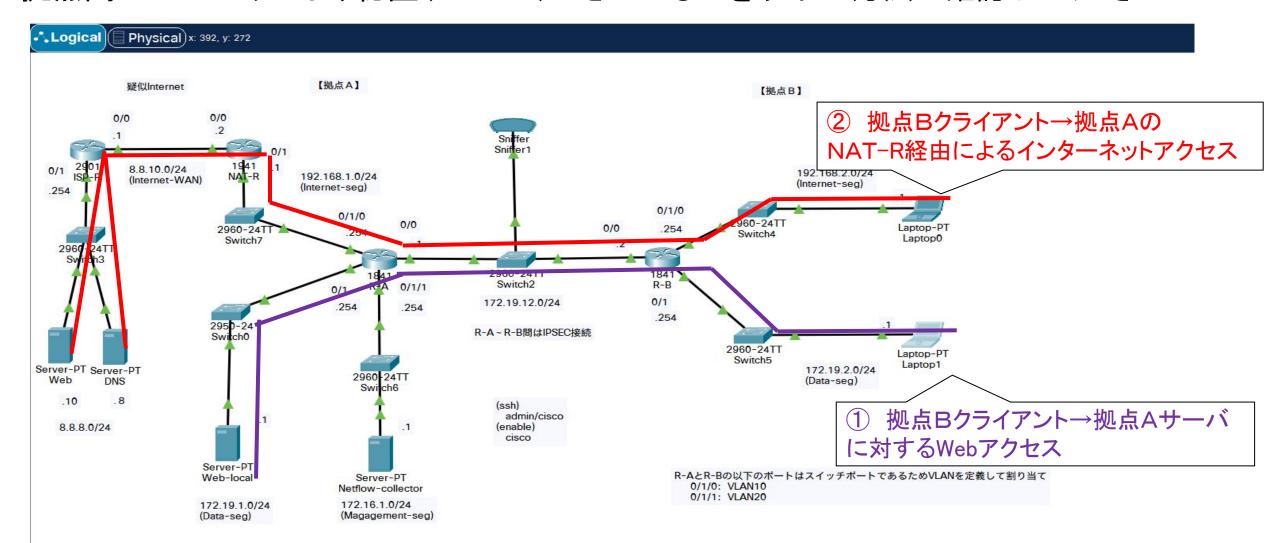


3 構成後の確認

(回線条件の機能確認)

(回線条件の機能確認)

拠点間VPNルータにより秘匿(IPSEC)できているかを以下の方法で確認してください



(回線条件の機能確認)

拠点間VPNルータにより秘匿(IPSEC)できているかを以下の方法で確認してください

① 拠点Bクライアント→拠点Aサーバに対するWebアクセス

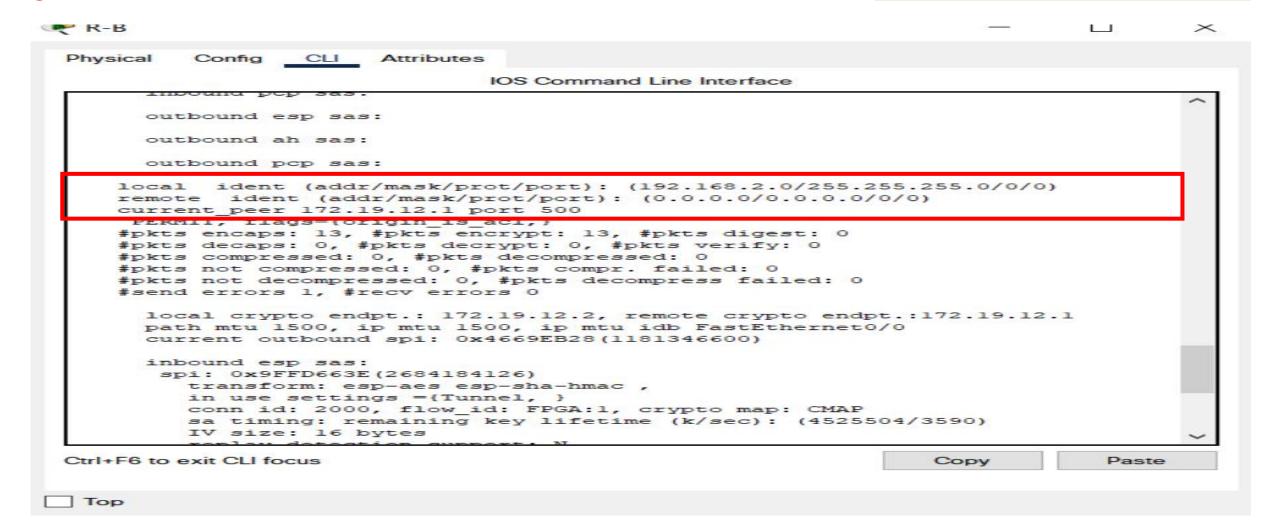
"show crypto ipsec sa" による確認



(回線条件の機能確認)

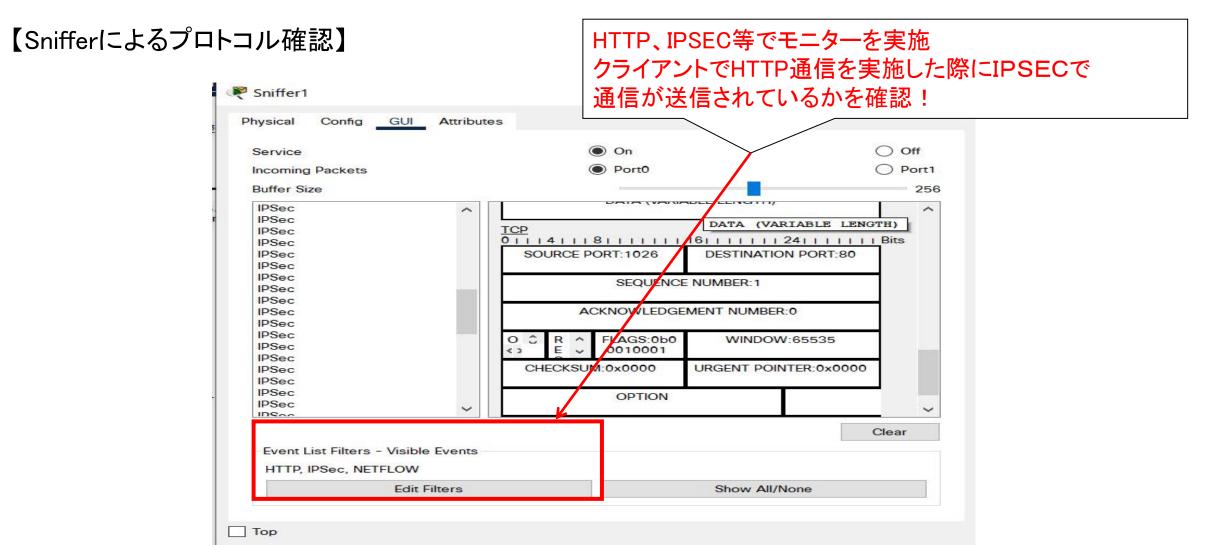
拠点間VPNルータにより秘匿(IPSEC)できているかを以下の方法で確認してください

拠点Bクライアント→拠点AのNAT-R経由によるインターネットアクセス "show crypto ipsec sa" による確認



(回線条件の機能確認)

拠点間VPNルータにより秘匿(IPSEC)できているかを以下の方法で確認してください



参考:IPSEC不具合時の確認POINT!!

・以下3つのパターンについて紹介します

◇ Pattern	1		
Cisco#show c IPv4 Crypto dst	rypto isakmp sa ISAKMP SA src	state	conn-id status
◇ Pattern	2 (失敗)		
IPv4 Crypto	rypto isakmp sa ISAKMP SA src 1 22.22.222.222	state MM_NO_STATE	conn-id status 0 ACTIVE
◇ Pattern	3 (成功)		
Cisco#show c IPv4 Crypto dst 11.11.111.11	src	state QM_IDLE	conn-id status 1001 ACTIVE

(出典) ネットワークエンジニアのメモ IPsec-VPN: MM_NO_STATEとQM_IDLEの原因と解決策 https://www.infraeye.com/2018/04/04/network035/

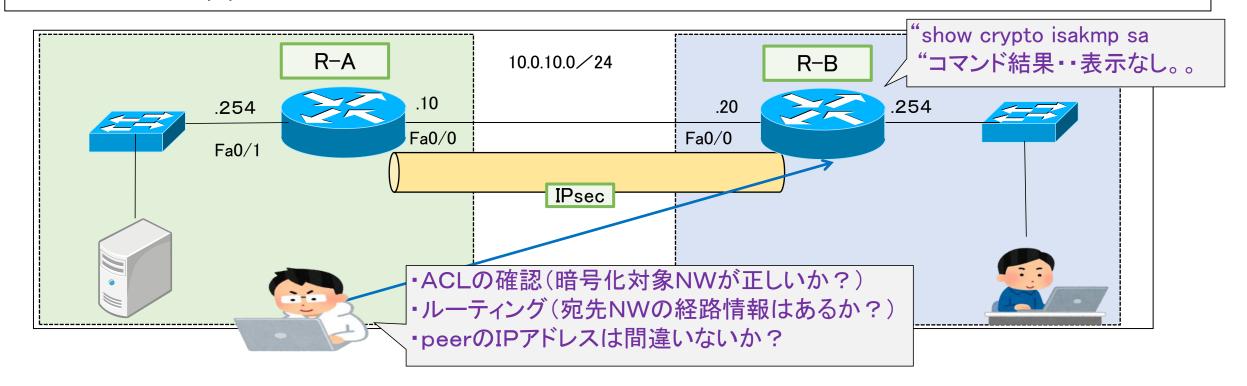
参考: IPSEC不具合時の確認POINT!!

(パターン1)

ステータスに何も表示されないケース。このステータスはIPsec通信が行われていない状態を意味します。 つまり、end-to-endで通信が行われていない状態であるためPCから対向拠点のPCに対してPINGなどで 通信を行ってみましょう。

それでも、何も表示されていない場合にはIPsec対象のACL設定ミス、ルーティング設定ミスである可能性が高いです。

【あと isakmp peerのアドレス(IPSEC終端ルータ)が間違っているなど。。】



参考: IPSEC不具合時の確認POINT!!

(パターン2)

ステータスにMM_NO_STATEと表示されるケース。このステータスはIKEフェーズ1の失敗を意味します。 IPsec-VPN接続を行う両方のルータでIKEフェーズ1の設定に間違いがないかどうかを確認しましょう。例えば、Pre-shared Key (crypto isakmp key) の設定が両端のルータで同じ値なのかを確認してみましょう。 また、ACLの設定が原因である可能性もあるので障害切り分けのために、ACLを外したり、一時的に緩いACLに変更して問題を切りわけましょう。

この問題はルータの再起動によって解決する事例も報告されており、MM_NO_STATE (失敗)ステータスから、QM_IDLE(成功)ステータスに遷移してくれる場合もあります。

(パタ―ン3)

ステータスにQM_IDLEと表示されるケース。このステータスは、IKEフェーズ1の成功を意味します。従って、現状のIKEフェーズ1の設定は正しいことを意味するので、IPsec-VPN接続の通信が正常に行えない場合は、IKEフェーズ1ではなくて、IKEフェーズ2の設定に問題があることを意味します

参考: IPSEC不具合時の確認POINT!!

ルータ間のVPN(IPSEC)が確立される前はPINGが成功しません~

```
Packet Tracer PC Command Line 1.0
C:\>ping 192.168.2.1
                                              IPSec未確立の場合は
                                              PINGに失敗します・・
Pinging 192.168.2.1 with 32 bytes of data:
Request timed out.
Request timed out.
Reply from 192.168.2.1: bytes=32 time<1ms TTL=126
Reply from 192.168.2.1: bytes=32 time<1ms TTL=126
Ping statistics for 192.168.2.1:
    Packets: Sent = 4, Received = 2, Lost = 2 (50% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
   Minimum = Oms, Maximum = Oms, Average = Oms
C:\>
```

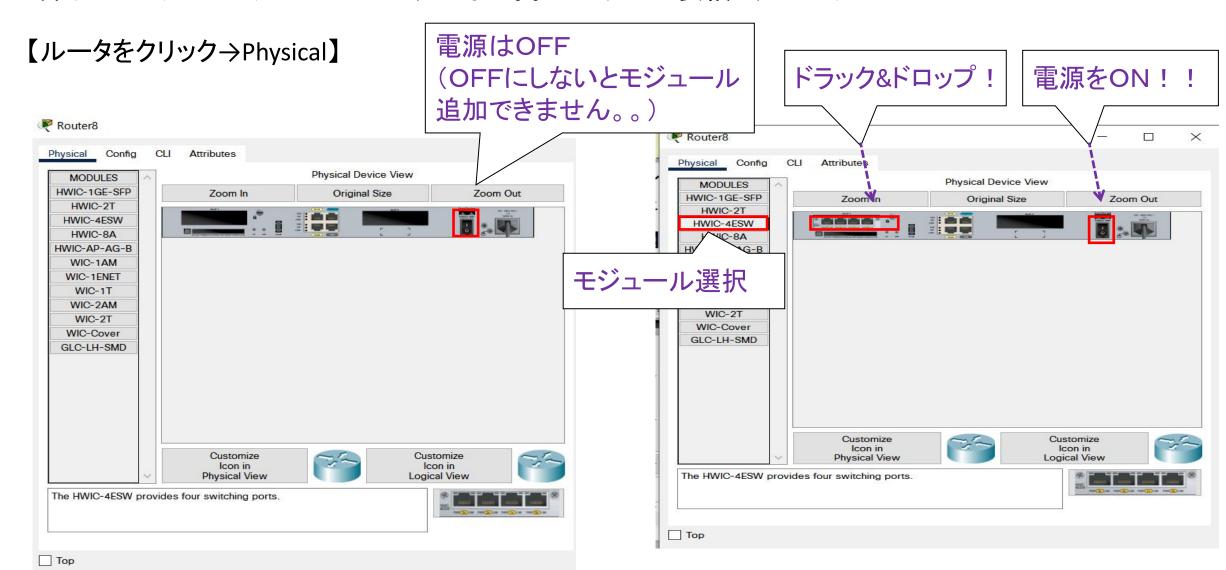
ルータ間のVPN(IPSEC)が確立された場合ははPINGが全て成功します!

4 参 考

(1) インタフェースモジュールの追加例

(1) インタフェースモジュールの追加例

今回のルータはインターフェースが足らない。。ので以下の要領で追加しました!



(1) インタフェースモジュールの追加例

モジュール追加後、インタフェースが認識しているかを確認!

```
(追加前)
Router#show ip int brief
Interface
                IP-Address
                              OK? Method Status
                                                         Protocol
FastEthernet0/0
                   unassigned
                             YES unset administratively down down
FastEthernet0/1
                   unassigned
                             YES unset administratively down down
Vlan1
                unassigned
                           YES unset administratively down down
(追加後)
Router#show ip int brief
Interface
                IP-Address
                              OK? Method Status
                                                         Protocol
FastEthernet0/0
                   unassigned
                              YES unset administratively down down
FastEthernet0/1
                   unassigned
                             YES unset administratively down down
FastEthernet0/1/0
                  unassigned
                               YES unset up
                                                          down
FastEthernet0/1/1
                  unassigned YES unset up
                                                          down
FastEthernet0/1/2
                  unassigned
                                 YES unset up
                                                          down
FastEthernet0/1/3
                  unassigned YES unset up
                                                          down
Vlan1
                unassigned YES unset administratively down down
Router#
```

4 参 考

(2) VLAN設定及びIPアドレスの付与要領

(2) VLAN設定及びIPアドレスの付与要領

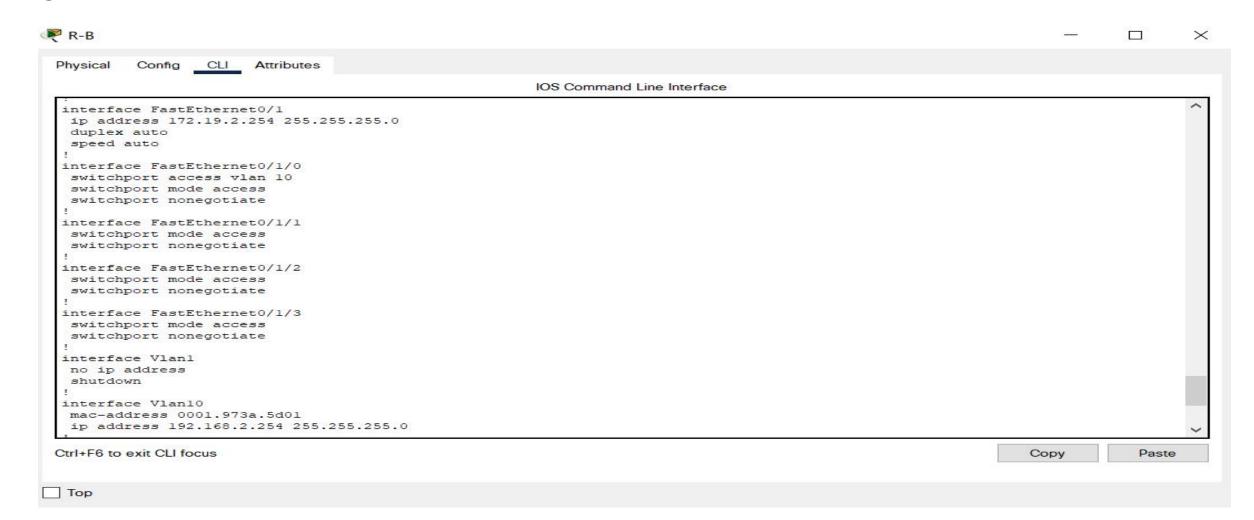
今回増設したインターフェースについてはスイッチポート(いわゆるL2ポート)であるため、IPアドレスを付与する場合は以下の要領で実施します。

- ① VLANの追加Vlan DatabaseコマンドによりVLANコンフィグレーションモードに移行→ VLAN "VLAN ID" を付与
- ② VLAN IDに対してIPアドレスを付与int VLAN "VLAN ID" コンフィグレーションモードに移行→ IPアドレスを付与
- ③ 物理ポートに対してVLAN IDを付与IPアドレスを付与したい物理ポートに対して物理ポートコンフィグレーションモードに移行
 - → switchport mode vlan "vlan id"

- (2) VLAN設定及びIPアドレスの付与要領
- ① VLANの追加 Vlan Databaseコマンドにより VLAN設定モードに移行 → VLAN "VLAN ID" を付与

```
R-B#vlan database
% Warning: It is recommended to configure VLAN from config mode,
  as VLAN database mode is being deprecated. Please consult user
  documentation for configuring VTP/VLAN in config mode.
R-B(vlan) #vlan 10
VLAN 10 modified:
R-B(vlan) #exit
APPLY completed.
Exiting....
R-B#show vlan
VLAN Name
                                      Status
                                               Ports
    default
                                      active Fa0/1/1, Fa0/1/2, Fa0/1/3
10
   VI.ANOO10
                                               Fa0/1/0
                                      active
1002 fddi-default
                                      active
1003 token-ring-default
                                      active
1004 fddinet-default
                                      active
1005 trnet-default
                                      active
VLAN Type SAID MTU
                            Parent RingNo BridgeNo Stp BrdgMode Transl
Trans2
    enet 100001
                    1500 -
    enet 100010
                     1500 -
         101002
                      1500
```

- (2) VLAN設定及びIPアドレスの付与要領
 - ② VLAN IDに対してIPアドレスを付与
 - ③ 物理ポートに対してVLAN IDを付与



4 参 考

(3) Netfowの設定および確認

- (3) Netfowの設定および確認
 - O Netflowとは??

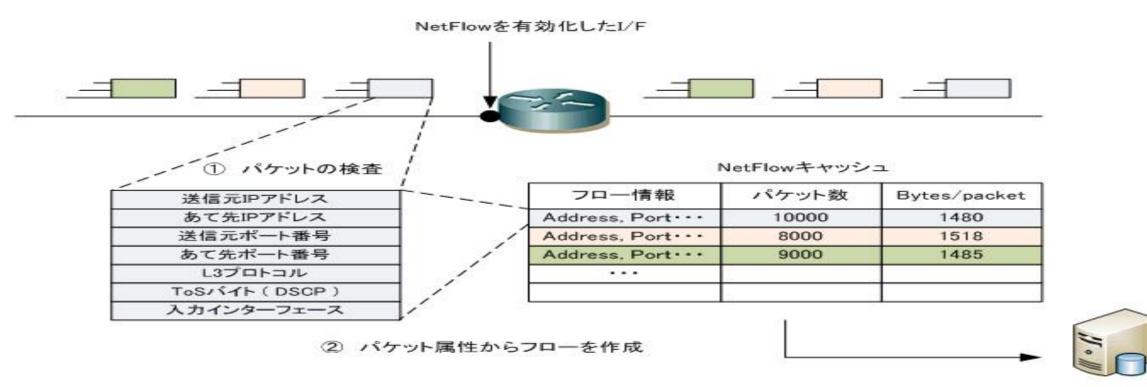
ネットワーク上で流れるトラフィックフローを受動的にモニタできる機能のことです。

NetFlowはIOSの機能の1つであり、1996年にCiscoが開発しました。

NetFlow version 5 - アーキテクチャ

出典:ネットワークエンジニアとして

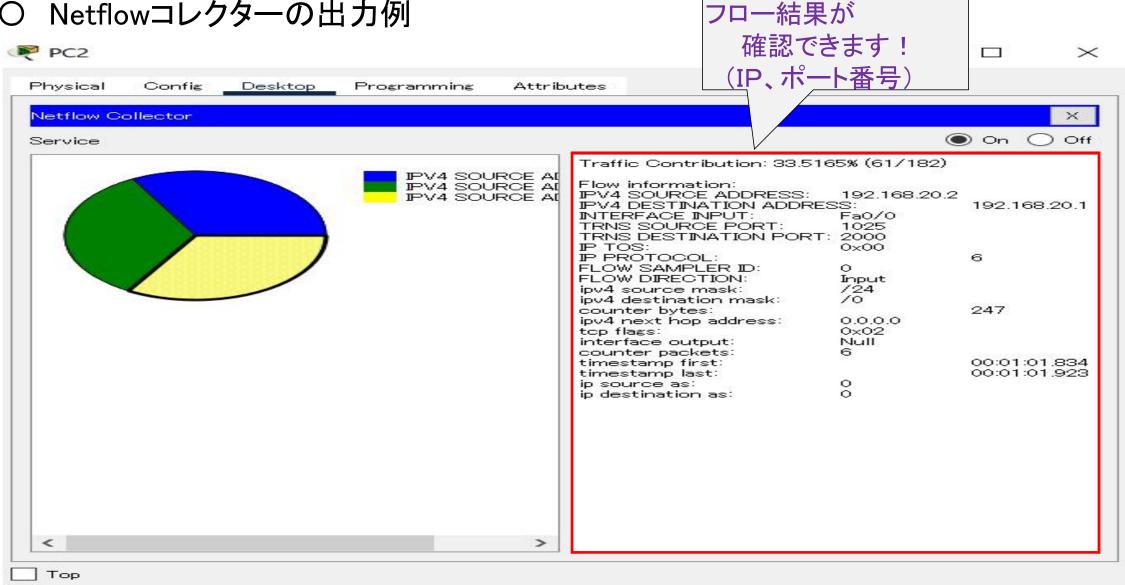
https://www.infraexpert.com/study/netflow1.html



③ NDE(NetFlow Data Export) パケットとしてカプセル化し、 NDE対応サーバやレポーティングサーバなどに送付

Netfowの設定および確認 Netflow Collector Netflow設定及び確認イメージ コレクター により確認 エクスポータ(NW機器)に設定を投入 ip flow-export destination 192.168.110.1 9996 ip flow-export version 9 int fa0/0/受信トラヒックを対象 ip flow ingress /送信トラヒックを対象 ip flow egress IP: 192. 168. 110. 1 コレクター にFlowを送信 サーバ クライアント fa0/1 fa0/0 **Netflow** エクスポータ トラヒックが通過

- (3) Netfowの設定および確認
 - Netflowコレクターの出力例



- (3) Netfowの設定および確認
 - Netflowエクスポータでの確認(例)

#show ip cache flow コマンドで確認できます!

```
R-2#show ip cache flow
IP packet size distribution (261 total packets):
       64 96 128 160 192 224 256 288 320 352
  544 576 1024 1536 2048 2560 3072 3584 4096 4608
  000.000.000.000.000.000.000.000.000.000.
IP Flow Switching Cache, 278544 bytes
                                               この例では
 2 active, 4094 inactive, 118 added
 1 ager polls, 0 flow alloc failures
                                                  H323: VOIPの呼制御プロトコル
 Active flows timeout in 30 minutes
 Inactive flows timeout in 15 seconds
                                                   その他プロトコルが確認できる!!
IP Sub Flow Cache, 34056 bytes
  0 active, 1024 inactive, 0 added, 0 added to flow
 0 alloc failures, 0 force free
 1 chunk, 1 chunk added
 last clearing of statistics never
                             Packets Bytes Packets Active (Sec) Idle (Sec)
Protocol
              Total
                      Flows
              Flows
                       /Sec
                               /Flow /Pkt
                                                     /Flow
                                                             /Flow
                                             /Sec
TCP-H323
                        0.0
                                                              15.0
                                              0.0
                                                      3.0
UDP-DHCP
                        0.0
                                              0.0
                                                      0.5
                                                              15.0
UDP-other
                113
                        0.0
                                       28
                                              0.011250534.9
                                                              15.0
                116
                        0.0
                                                              15.0
Total:
                                              0.010959572.9
SrcIf
            SrcIPaddress
                          DstIf
                                      DstIPaddress
                                                    Pr SrcP DstP Pkts
Fa
                                      192.168.110.1 11 0000 270c
            192.168.20.1
                          Local
Fa
            192.168.20.1
                          Local
                                      192.168.120.1 11 0401 0401
R-2#
```

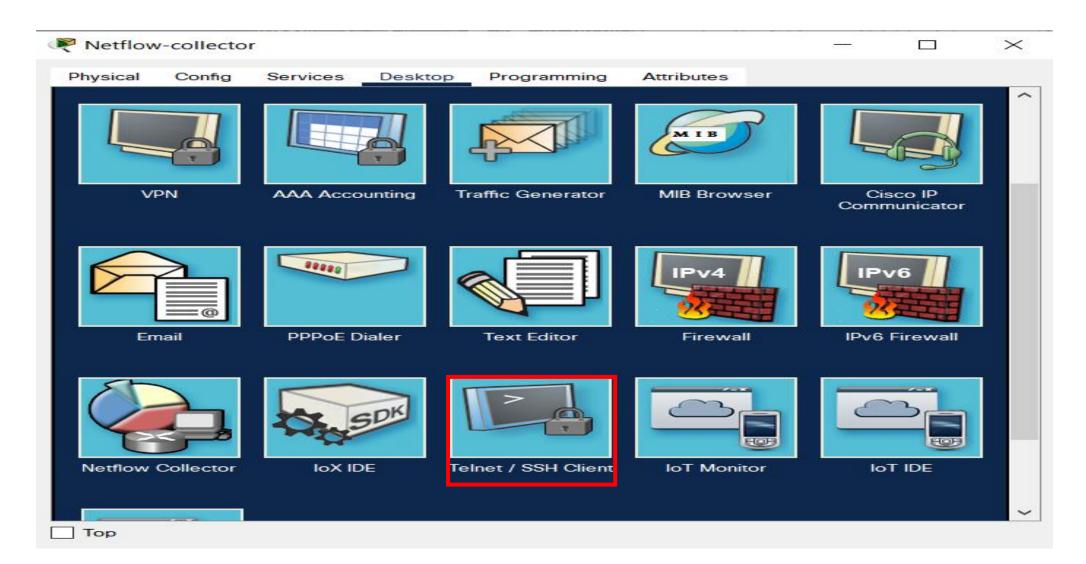
4 参 考

(4) ルータのSSH設定及び確認

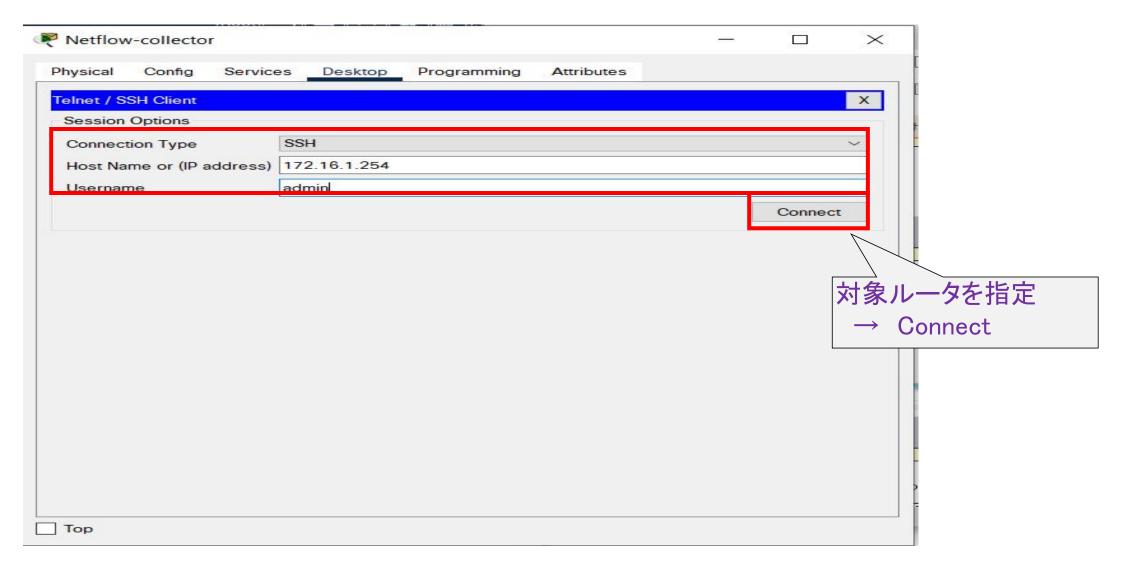
(4) ルータのSSH設定及び確認

```
/SSHログイン時のユーザ名/パスワード)
R-B(config)#username admin password cisco
R-B(config)#ip domain-name cisco
R-B(config)#crypto key generate rsa
The name for the keys will be: R-B.cisco
Choose the size of the key modulus in the range of 360 to 2048 for your
 General Purpose Keys. Choosing a key modulus greater than 512 may take
 a few minutes.
How many bits in the modulus [512]: 1024
                                                                RSAキーは1024
% Generating 1024 bit RSA keys, keys will be non-exportable...[OK]
*Mar 1 2:19:31.282: %SSH-5-ENABLED: SSH 1.99 has been enabled
R-B(config)#ip ssh version 2
                                                             /ルータへのリモート接続
R-B(config)#line vty 0 4
                                                             /ローカルユーザを使用
R-B(config-line)#login local
                                                              /SSH接続を許可
R-B(config-line)#transport input ssh
R-B(config-line)#exit
R-B(config)#
                                                               /enable Secret設定(Cisco)
R-B(config)#enable secret cisco
R-B(config)#
```

(4) ルータのSSH設定及び確認 SSHクライアント使用方法



(4) ルータのSSH設定及び確認 SSHクライアント使用方法



(4) ルータのSSH設定及び確認

